

石川県養護教育研究会からのお知らせ

春暖の候、養護教諭の先生方におかれましては、新年度の気ぜわしい日々をお過ごしのこととお察しします。日頃より本研究会の活動に対し、多大なるご理解とご協力を頂き御礼申し上げます。

令和7年度研究協議会は久しぶりに参集型で開催しましたが、シンポジウムや分科会を通して、対面だからこそ得られる、実り多い時間を共有することができました。実施後のアンケートでは、参集型の意義を再確認する声を多数いただきました。これらを踏まえ、令和7年度第3回委員研修会でお伝えしました通り、**令和8年度も「参集型」にて開催すること**といたしました。参集型にて開催することの背景や想いを下記にまとめましたので、ご一読ください。



研究協議会の目的と歩み

本研究協議会は、会員の資質向上や学校保健の発展を目的に毎夏開催しています。

コロナ禍や災害時はオンデマンド配信等の代替形式にて実施しましたが、令和7年度は、令和6年能登半島地震や奥能登豪雨が学校や児童生徒にどのような影響をもたらしたのか、現場で奮闘された先生方の生の声を直に聴いていただく方が、より学びが深まるのではないかと再度企画しなおしました。

「参集型」で実施する理由

- 「つながり」の再構築
校種（幼・小・中・高・特支）を超えて一同で学ぶ場を持つことで、養護教諭特有の悩みや実践を語り合い、日頃から連絡を取り合える関係性を築きます。
- 若手教員への安心感の提供
同職種間のネットワークを実感していただき、一人で抱え込まない体制を整えます。
- 災害に強い組織づくり
平時からの顔が見える関係こそが、有事の際に孤立せず協働できる体制（レジリエンス）の基盤となります。
- 研究団体としての研鑽
自主的な研究協議を継続することは、私たち自身の力量を高め、石川県の学校保健について内外に発信する機会となります。

運営を担う役員・地区委員の負担も考慮しつつ、より良い研修の場となるよう準備を進めてまいります。**今後も「石川県養護教育研究会」へのご加入ならびに皆様の積極的なご参加とご協力を心よりお願い申し上げます。**

【Q】 令和6年度アンケートでは、オンデマンドを希望する声が多数あったにも関わらず、なぜ参集型に変更になったのでしょうか？（R7年度第2回委員会・地区委員より）

【A】 当初はオンデマンドで企画していましたが、シンポジウム開催を決定した時、能登の現状を先生方と直にお聞きしたいとの気運が高まり、令和6年度第3回委員会の場で参集型開催の承認を得ました（R7.2通知済）。令和7年度研究協議会全体会で改めてお伝えしなかったことで混乱を生じさせたと思われます。申し訳ありませんでした。当日は、会員全員が一同に語り合い学び会えたことは大きな成果であり、事後の調査でも肯定的なご意見が多数を頂きました。ただ役員会総括の中で、「諸事情で参加できなかった方への対応については、もう少し改善の余地があったのではないか」という課題が指摘され、引き続き検討を続けたいと考えております。

「研究会加入調査」が変わります！

ホームページから様式をダウンロードして提出となっていた加入調査ですが、令和8年度より Forms による回答形式に変更いたしました。地区委員の先生方より QR コードの通知があります。

なお、この調査は全国養護教諭連絡協議会の基本調査を兼ねています。研究会加入の有無にかかわらず、石川県内に勤務する全ての養護教員の皆様にご回答をお願いします。

ご不明な点等がありましたら、各地区委員までご連絡ください。

回答期日：4月1日～10日

令和8年度養護教員研究協議会

が決まりました！

日時：令和8年7月29日（水）

10:00～16:15

会場：石川県地場産業振興センター

令和8年度は、午前中に少年鑑別所精神科・定本先生の講演会、午後からは認知行動療法の自主企画をはじめ4つの分科会を予定しています。

昼食時間は長めに時間を確保し、会員同士がゆっくりと交流できるようにするほか、書籍の販売なども企画しております。（詳細は別紙要項）

たくさんの先生方のご参加をお待ちしております！

令和7年度養護教員研究協議会事後アンケートより

あたたかいご意見をたくさんいただき、本当にありがとうございました。

ここで一部ご紹介させていただきます。詳細はホームページをご覧ください。

〈シンポジウム〉

- ・校種ごとの具体的な学校での対応や養護教諭の対応、工夫について知ることができ、とても勉強になった。
- ・被災された先生方のご負担になっているのではと思ったが、その経験を共有させて頂けたこと、大変ありがたかった。
- ・自分が養護教諭として普段から、発災時に何ができるだろうと考える機会になった。
- ・対面で生の声を聞くことができ、有意義な時間を過ごせた。このような機会を設けて頂きありがたかった。

〈分科会〉

- ・EARTHの活動について詳しく知ることが出来てよかった。グループワークも校種が偏らない工夫があり、初めて話す先生ばかりで新鮮だった。
- ・PCを今後うまく使いこなせるかは別にして、ICT活用の可能性が広がった研修内容だった。私たちの勤務改善にもつながる話で、できることから少しずつ取り組んでいきたい。
- ・不登校や登校しぶりなど気になる児童に対する連携の回り方について学ぶことができた。養護教諭や担任一人で抱え込みやすいので、協力体制を作り専門機関と連携しながら取り組んでいくことが大切だと思った。
- ・発表者の活動が積極的な取り組みばかりで参考にしたいと思った。グループ協議では、どの学校も似た悩みがあり、難しさを改めて感じながらも多くの意見を聞くことが出来た。



「2024.1.1 能登半島地震の経験を生かして～養護教諭の活動の記録～」

「令和7年度養護教員研究集録第74集」がお手元に届いていますか？



皆様のご協力のおかげで無事発刊できました！

本当にありがとうございました。

活動の記録は各学校保管となりますので、お間違いなくお願いします。

（研究集録は、私費会員の方はご自身で公費会費の方は学校保管となります。）

